【様式1】 CAN-DO LIST 2024

学校名:	鹿児島県立志布志	高等学校	大学科:	普通
科目名:	英語コミュニケーションⅢ		学年	3年

領域	達成	CAN-DO Statement (CDS)	Lesson	評価方法	学期	CS
Listening	L1 □	日常的な話題に関するある程度の速さと情報量のある文を聞いて、一定の支援があれば聞き取ることができる。	1 2	単元テスト	1学期	ア
	L2 □	日常的な話題に関するある程度の速さと情報量のある文を聞いて、支援をほとんど活用しなくても簡単な展開や概要を聞き取ることができる。	5 6	単元テスト	1学期 2学期	ア
	L3 □	社会的な話題や科学的なテーマについて、視覚情報なども参考にしながら、その説明の概要や要点を理解することができる。	8 10	単元テスト	2学期 3学期	イ
Reading	R1 □	日常的なある程度の情報量の話題について、一定の支援があれば必要な情報を読み取り、展開や書き手の意図等を把握することができる。	2 3	考査	1学期	ア
	R2 □	日常的なある程度の情報量の話題について、支援をほとんど活用しなくても必要な情報を読み取り、書き手の意図やあらすじを把握することができる。	4 5	考査	1学期 2学期	ア
	R3 □	社会的な話題や科学的なテーマについて、図表や挿絵なども参考にしながら、概要や展開を理解することができる。	8 9 10	考査	2学期 3学期	イ
Speaking Interaction	SI1 □	日常的な話題について、基本的な語彙、語句、文を用いて、話し手の発話に関する質問や、聞き手の質問に対する返答ができる。	2 3	インタビューテスト	1学期	ア
	SI2 □	日常的な話題について、多様な語彙、語句、文を用いて、状況に応じた情報や考えのやりとりができる。	4 6	スピーチ後の質疑応答	2学期	ア
	SI3 □	社会的な話題について、場面や状況に即した表現を用いて、聞いたことや読んだことに関する情報を交換することができる。	7 8	スピーチ後の質疑応答	2学期	イ
Speaking Presentation	SP1 □	日常的な話題について、一定の支援があれば自分の意見や考えと、その理由を適切に述べるることができる。	1 3	インタビューテスト	1学期	ア
	SP2 □	日常的な話題について、ほとんど支援を活用しなくても自分の意見や考えと、その理由を明確に述べるることができる。	4 6	インタビューテスト スピーチ	2学期	ア
	SP3 □	社会的な話題について、一定の支援があれば問題提起および解決策等を明確に述べるることができる。	9 10	スピーチor プレゼンテーション	3学期	イ
Writing	W1 □	日常的な話題について、自分の個人的な経験を踏まえながら、基本的な語彙、語句、文を用いて、一貫性のある複数の文を書くことができる。	1 2	考査	1学期	ア
	W2 □	日常的な話題について、支援をほとんど活用しなくても、基本的な語彙、語句、文を用いて、一貫性のある複数の文を書くことができる。	5 6	考査	2学期	ア
	W3 □	社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。	7 9	考査、エッセーライティング	2学期 3学期	イ

※左のCSは学習指導要領を意味します。その内容は別のシートにあります。

【様式2】 年間指導計画 2024

教科書	鹿児島県立志布志 高等学校	学 年:	3年
科目名:	英語コミュニケーション III	大学科:	普通

学期	月	Lesson	領域	CS	評価方法	達成	学習内容と学習のねらい	
1	4	1~6	R	ア	考査	R2□	L1「代替肉」の可能性と問題点 L2筋肉の働きと重要性 L3動物園の是非 L4駅弁の歴史 L5会話を続ける3つのコツ L6変わっていく音楽の楽しみ方	
			SI	ア	言語活動	SI1□	日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に詳しく話して伝えることができるようにする。	
	5	7~14	R	ア	考査	R2□	L7口コミ情報サイト L8植物が行う生存戦略 L9世界の温泉事情 L10日本伝統技術 L11博物館案内文 L12感情のコントロール法 L13クラウドファンディング L14新聞記事	
			SI	ア	言語活動	SI2□	日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続け、会話を発展させることができるようにする。	
			SP	ア	言語活動	SP2□	日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に詳しく話して伝えることができるようにする。	
	6	15,16	W	ア	考査	W2□	日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを複数の段落から成る文章で論理的に詳しく書いて伝えることができるようにする。	
			R	イ	考査	R3□	L15スポーツでのテクノロジー L16消滅の危機の言語	
	7	17,18	SI	イ	言語活動	SI3□	社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、間いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に詳しく話して伝えることができるようにする。	
			SP	イ	PT	SP3□	L17 環境によい行動 L18「成長する」靴	
			W	イ	エッセーライティング	W3□	社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、間いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを複数の段落から成る文章で論理的に詳しく書いて伝えることができるようにする。	
	2	9	19,20	R	ア	考査	R3□	L19フェイクニュースを見分ける方法 L20太古の昔からの感染症
				SI	ア	言語活動	SI3□	日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができるようにする。
R				イ	考査	R3□	L21技術・社会:顔認証システムの利点と危険性 L22奴隷解放運動家の生涯	
10		21,22	SI	イ	言語活動	SI3□	社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、間いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に詳しく話して伝え合うことができるようにする。	
			W	イ	言語活動	W3□	社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、間いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを複数の段落から成る文章で論理的に詳しく書いて伝えることができるようにする。	
			R	イ	考査	R3□	防災:日本の地震災害	
11		23	SP	イ	言語活動	SP3□	社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、間いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に詳しく話して伝えることができるようにする。	
			W	イ	エッセーライティング	W3□	社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、間いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを複数の段落から成る文章で論理的に詳しく書いて伝えることができるようにする。	
		24	R	イ	考査	R3□	科学・倫理:科学医術と寿命	
			SP	イ	言語活動	SP3□	社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、間いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に詳しく話して伝えることができるようにする。	
		W	イ	エッセーライティング	W3□	社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、間いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを複数の段落から成る文章で論理的に詳しく書いて伝えることができるようにする。		
12~		L	イ	言語活動	L3□	会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、話の展開に注意しながら必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。		
	R	イ	言語活動	R3□	社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、文章の展開に注意しながら必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。			
	W	イ	エッセーライティング	W3□	社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、間いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを複数の段落から成る文章で論理的に詳しく書いて伝えることができるようにする。			
	SP	イ	PT	SP3□	社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、間いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に詳しく話して伝えることができるようにする。			
3	1~	L	イ	言語活動	L3□	社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、話の展開に注意しながら必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。		
		R	イ	言語活動	R3□	社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、文章の展開に注意しながら必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。		
		W	イ	エッセーライティング	W3□	社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、間いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを複数の段落から成る文章で論理的に詳しく書いて伝えることができるようにする。		
		SP	イ	PT	SP3□	社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、間いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に詳しく話して伝えることができるようにする。		